

# 道政かわら版



RYUICHI KITA DOUSEI KAWARABAN No.15

[道政かわら版 第15号]  
**喜多龍一十勝連合後援会**  
 〒089-0533  
 中川郡鶴別町丸の内新北町74番地16  
 TEL (0155)56-7755  
 FAX (0155)56-7766  
 発行責任者 泉 耕治  
 発行日 平成23年1月7日  
 http://www.kitaray.com



**2011 新年あいさつ**  
 北海道議会議員  
**喜多龍一**

あけましておめでとうございます。

昨年北海道監査委員となり全道歩き、昨秋には全都道府県監査委員協議会連合会の副会長に就任しました。まもなく四期十六年になるうとしていますが、これまで様々な分野の仕事に取り組み、役目を与えられ、北海道や十勝のために小さな力ではありますが、働いてこられたのは後援会の皆さん、多くの十勝帯広の皆さんのおかげで、心からお礼申し上げます。

さて昨年は民主党政府のもと、大多数の国民



女性の集い

の皆さんが暮らしや経済、そして日本の将来に不安を感じた一年だったのではないのでしょうか。このようなことは戦後六十六年、かつてあったでしょうか。沖縄普天間基地問題に端を発した日本とアメリカの信頼関係の急激な低下は、中露両国にすきを与え、尖閣諸島や北方領土に於てなかつた事態を誘引し、国際社会での日本の地位は失墜しました。

また良し悪しはともかく、子供手当という二つの施策で、しかも半額支給でも大きな省庁の年間の総予算よりも多いという、言葉にならない無責任な財政運営をしています。科学技術や農業などをはじめとする産業基盤への投資を打ち切ったり、いつか将来の子供たちに何を残したのか、基本となる考え方はないんじゃないかと思ってしまう。

さらに、税制改革では、財源の帳尻合わせをして、個人増税を決めました。このままでは、将来の姿を描くことができません。

私たち日本人は家庭や地域のきずなを大切にし、勤勉・儉約を美德としてきました。その日本人本来の姿を思い起こせば、貧しくともきつと厳しい時代を乗り越えられる、その先に確かな未来が待っている、と私は信じています。

北海道・十勝の豊かな大地！豊かな海！限らない可能性に満ちた北海道・十勝の未来を切り開くのは、今に生きる私たちです！それを子や孫たちにバトンタッチするのも私たちです！

このかけがえのないふるさと十勝のため北海道のために、荒れてよむむ北海道の政治状況に風をいれようという課題に取り組み責任感と「北海道の挑戦・十勝の挑戦」という強い思いで働く決意ですので、どうか今年もよろしくお願ひ申し上げます。



**新年あいさつ**  
 喜多龍一十勝連合後援会  
 会長  
**泉 耕治**

皆様新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、天変地変による自然災害や、国際紛争による人災等が無いよう、神仏のご加護を祈るとともに、四月十日に行われる統一地方選挙に勝利することが、私の最大の願ひであります。

昨年は、(一)尖閣諸島沖の中国漁船衝突事故(二)北朝鮮の韓国砲撃(三)メドベージエフ、ロシア大統領の国後島訪問(四)国際基軸通貨のドル安・円高(出口の見えないデフレ不況等、困難ともいえるような幾多の事例に遭遇しました。

更に、国内に視点を移すと(一)TPP(環太平洋経済連携協定)(二)雇用問題(特に新卒者の就職難)(三)社会保障改革(年金・医療・介護の抜本策)(四)財政再建(消費税等税制全般)(五)新防衛大綱(沖繩米軍基地関連を含む)(六)地方主権改革(平成大改革等)とあけても例示の如くであります。

今年は懸案解決に向け、前進させなければなりません。

統一地方選挙の最大の争点は、TPP問題と思われませんが、我等が喜多龍議は諸課題の解決に向け、皆さんの先頭に立つて頑張るものと確信しております。

どうぞ更なるご支援とお力添えを心からお願い申し上げます。

今年には皆様によりまして幸せ多き一年であることを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 宮崎県における「口蹄疫」について

### 平成22年 第6回農政委員会 質疑

平成22年5月11日(火曜日)  
 於 第6委員会室

四月二十日一例会目が発生してから五月四日までに二十三例目、連休明け七日には三十五例目が発生し、爆発し牛豚合計四万五千頭の殺処分が決定。

十年前の平成十二年は宮崎県二戸発生、三十五頭の殺処分、その後、本道十勝で一戸発生し収束、本道十勝は牛、豚等の偶蹄類(うたてい)の動物の病気で、人に感染することはないとされています。

豚が感染すると牛の千倍のウイルスを吐き出すと言われ、平成九年に台湾で豚に大まん延、猛威をふるったことを思い出しますが、十年前の宮崎と今は規模が違います。

北海道においては、同じ偶蹄類である野生の鹿に感染したから一体どんなことになるのでしょうか、恐怖を感じましたが、今回も同じ。北海道への再上陸は何としても

避けたいものです。十年前をわざわざいし、最善を尽くさねばなりません。そこで伺います。

【質問一】  
 輸入稲わらなど国の輸入検査について

(一)十年前の口蹄疫終息後に国は家畜衛生予防法を一部改正し、中国から輸入している飼料用稲わら等の殺物(わら)及び飼料用乾草の加熱処理基準や消毒処理施設は、日本の農林水産大臣の指定施設であることなど、輸入検査の強化を図りました。交わされた衛生基準が遵守されているか、またそれで十分か点検検査が必要と考えますが、見解を伺う。

(二)当時中国経由で北朝鮮産の稲わらも入っていたことから、輸入検査の強化のほか、国産稲わらで国内需要を賄える数量があること、その活用が叫ばれました。その結果、十八年産までは九十%前後から九十七%

【質問二】  
 道の体制について

九十八%の稲わら自給率となったのですが、十九年産から八十%台に落ち、口蹄疫が発生している中国からの輸入が増えています。何故なんだろうかと、認識を伺います。

【質問三】  
 人的支援について

五月六日現在の都道府県からの人的支援は四月二十八日(道)から道庁三十八人、延べ二百八十五人で、追加要請を受け五月七日から十四日まで延長。道からは家畜保健衛生所がら二名です。

【質問四】  
 道の侵入防止対策について

口蹄疫にはA型O型が、A型O型、韓国は発生当初A型だったが三月からはO型です。いずれも道伝子的に近いので、今現在の発生箇所は三市町で、家畜の移動禁止、通行遮断等の緊急措置は有効に働いていると考えることから、農水省の専門会議は、風よりも人や車両の移動による感染拡大を警戒しているようだ。道の侵入防止対策について伺う。

【質問二】  
 農業関連法人の仕分け結果と道内へ影響について

最後に、先月実施された民主党政権の行政刷新会議による事業仕分けについてである。今回の対象は独立行政法人だったが、農畜産業振興機構など農業分野に關係する法人が対象となり、また陸上自衛隊は五月一日から発生農場の防疫措置等のため自衛官百人を派遣し、追加派遣も想定して来に影響が懸念されるもの



●喜多龍一政経セミナー

【指摘】  
 国の独法に種苗管理センターや家畜改良センターなどがある。私は、農水省の種苗課を知財課に名称変更し、この流れや、国の種苗・種畜供給の体制がそのまま海外に全面依存すると価格等支配される。特に、米国・中国などは遺伝子確保や品種改良はもとより、原原種・原種の管理のための農地的確保まで周到に戦略的に取り組んでいる。

また世界の牛の遺伝子解析は猛烈に進んでおり、日本はこれからというところ。仕分けには大事な一面があるが、折角だけ内容を深掘りして、前を向いた検討を合わせしてほしいと感じたところ。

種を制する者世界の農業を制するというのが、国も道も種苗・種畜戦略を立てるべきではないかと、私はかねてより考え、今年に入ってから農水省に個人的に提言してきた。

答弁のごとく、今後の事業の整理・縮減や制度設計の見直し等の内容に注視し、敏感に対応していただきたいと蛇足ながら申し上げ、終わります。





# TPP (環太平洋経済連携協定) による十勝の影響

## 北海道への影響試算

【対象品目】  
米、小麦、てん菜、でん粉  
原料用馬鈴しょ、酪農  
肉用牛、豚

【試算結果】  
影響額合計  
二兆二千二百五十億円  
うち  
農業産出額  
五千五百六十三億円  
生産条件不利補正付金  
六千六百七十七億円

【試算結果】  
影響額合計  
二兆二千二百五十億円  
うち  
農業産出額  
五千三百九十億円  
生産条件不利補正付金  
六千七百六十一億円

【試算結果】  
影響額合計  
二兆二千二百五十億円  
うち  
農業産出額  
五千三百九十億円  
生産条件不利補正付金  
六千七百六十一億円

【試算結果】  
影響額合計  
二兆二千二百五十億円  
うち  
農業産出額  
五千三百九十億円  
生産条件不利補正付金  
六千七百六十一億円

【試算結果】  
影響額合計  
二兆二千二百五十億円  
うち  
農業産出額  
五千三百九十億円  
生産条件不利補正付金  
六千七百六十一億円

## 十勝への影響試算

【対象品目】  
小麦、てん菜、でん粉、原料用馬鈴しょ、酪農、肉用牛、豚

【試算結果】  
影響額合計  
一兆三千九十二億円  
うち  
漁業産出額  
五百三十億円  
漁業地域崩壊の打撃  
六千六百七十七億円

【試算結果】  
影響額合計  
一兆三千九十二億円  
うち  
漁業産出額  
五百三十億円  
漁業地域崩壊の打撃  
六千六百七十七億円

【試算結果】  
影響額合計  
一兆三千九十二億円  
うち  
漁業産出額  
五百三十億円  
漁業地域崩壊の打撃  
六千六百七十七億円

【試算結果】  
影響額合計  
一兆三千九十二億円  
うち  
漁業産出額  
五百三十億円  
漁業地域崩壊の打撃  
六千六百七十七億円

【試算結果】  
影響額合計  
一兆三千九十二億円  
うち  
漁業産出額  
五百三十億円  
漁業地域崩壊の打撃  
六千六百七十七億円

### 【影響度合】

☆十勝の農業産出額  
全体二千四百一億円の五十八%

☆十勝の産業産出額  
全体一兆九千四百二十二億円の二十六%で四分の一以上

## ☆十勝の就業者数 全体十七万五千人の二十三%

米地帯や都市部と違い、農業関連のウエイトが高いのが十勝の特徴です。鈴木宣弘東大教授は「TPPに参加した場合、所得補償で国内生産を維持するために、毎年新たに農産物全体で三兆四千万円程度の財源が必要」との試算を示し、現在の農林水産省の総予算は二兆四千五百億円、財源をどうやって確保するのかという議論以前にの全く非現実論です。農業以外もある。また関税を撤廃すれば農業の競争力強化につながるという推進派の意見に対し「競争力をつける前に農業が崩壊してしまふ」。貿易自由化による経済成長の効果については海外展開できる企業は二千社に、一社程度で、大多数の中小企業などは逆に安い輸入品との競争激化にさらされる。一部の輸出産業のために失う利益の大きさを考えるべき、仮に農業や金融、労働者の移動も全面開放すれば、国民生活全体に劇的な変化をもたらす、国家存立の問題になると強調しています。

# 2010年新聞記事から

十勝毎日新聞 平成二十二年二月六日

国の農業予算削減 事業重点化で対応  
北海道農業政策 農多氏質問  
【札幌 道農連関係者】 農多氏の質問に、農多氏は「国の農業予算削減は、北海道農業にとって大きな問題である。道農連関係者は、国の農業予算削減に反対し、国の農業予算削減を阻止するよう努力する」と述べた。

十勝毎日新聞 平成二十二年二月十日

◆農多氏 道議(十勝選) 農多氏質問  
【札幌 道農連関係者】 農多氏の質問に、農多氏は「国の農業予算削減は、北海道農業にとって大きな問題である。道農連関係者は、国の農業予算削減に反対し、国の農業予算削減を阻止するよう努力する」と述べた。

北海道新聞 平成二十二年八月四日

感染疑いの種牛  
ただちに殺処分  
口蹄疫対応、道が方針  
【札幌 道農連関係者】 口蹄疫対応、道が方針。感染疑いの種牛、ただちに殺処分。口蹄疫対応、道が方針。

北海道新聞 平成二十二年十月十六日

政治メモ  
十勝への要請  
【札幌 道農連関係者】 十勝への要請。政治メモ。十勝への要請。

十勝毎日新聞 平成二十二年二月六日

十勝毎日新聞 平成二十二年二月六日  
「ふるさと支援事業」の廃止に疑問  
道農連関係者質問  
【札幌 道農連関係者】 「ふるさと支援事業」の廃止に疑問。道農連関係者質問。

北海道新聞 平成二十二年七月十九日

建設業者に仕事を  
道農連関係者質問  
【札幌 道農連関係者】 建設業者に仕事を。道農連関係者質問。

北海道新聞 平成二十二年八月四日

地域政策懇談会  
道農連関係者質問  
【札幌 道農連関係者】 地域政策懇談会。道農連関係者質問。

十勝毎日新聞 平成二十二年十月十六日

十勝への要請  
道農連関係者質問  
【札幌 道農連関係者】 十勝への要請。道農連関係者質問。

十勝毎日新聞 平成二十二年十一月十日

◆農多氏 道議(十勝選) 農多氏質問  
【札幌 道農連関係者】 農多氏の質問に、農多氏は「国の農業予算削減は、北海道農業にとって大きな問題である。道農連関係者は、国の農業予算削減に反対し、国の農業予算削減を阻止するよう努力する」と述べた。

平成二十二年十月十日十勝毎日新聞

現場の声、政策に  
反映させる好機  
鈴木東大教授  
酪農経営で講演  
【札幌 道農連関係者】 現場の声、政策に反映させる好機。鈴木東大教授。酪農経営で講演。



●十勝家友会新春講演会





大樹町中島路農まつり



札幌後援会野遊会



女性の集い



高橋はるみ知事 まちかど対話池田町ブドウ・ブドウ酒研究所視察



高橋はるみ知事 まちかど対話十勝の夢懇談(池田町)



浦幌町幾千世馬頭祭



しばれフェスティバル



芽室町新年交礼会



喜多龍一十勝連合後援会総会



隊友会 十勝地区PG大会



こまば夏まつり

**我輩は秘書である**  
 先日、調子が悪くて飲めないでいると、「顔色良いのだからと言われ、誰にも調子が悪いことを信じてもらえませんでした。ジグロなのに...」  
 歳を重ね、健康について考えさせられます。後期高齢者医療制度・介護保険・医療制度改革等、将来を心配して制度設計されたものなのに、なぜか今も将来も不安です。安心して病と闘え、老後を送れる医療福祉制度の実現に向け、ご主人様が頑張ることを期待します。  
 ご主人様は期待を裏切りません。色々な意味で裏かきして転んだり、忘れ物したり、ご飯こぼしたり、やるやると見ているとやらかします。そんな期待を裏切らないご主人様なので、今ある立場の中で、外交・防衛・領土問題等不安のある国政や財政難の道政の諸問題解決に向け頑張ることを期待して下さい。期待されると励みになるタイプです...  
 ついに統一地方選挙の年となりました。皆様には大変ご負担をかけることになってしまいますが、最後の最後までよろしくお願いします。  
 本年も元気に頑張ってください。編集後記のかわり  
 匿名M秘書  
 追伸  
 喜多龍一のホームページも是非ご覧下さい。  
<http://www.kitanyu.com/>

# 2010年活動写真



本別B&W



幕別町民栄誉賞記念碑除幕式



とかち飼料株式会社竣工披露



広尾町商工会青年部総会



十勝総合振興局十勝の魅力発信室にて意見交換



自民党地域政策懇親会



陸別町酪農振興会との勉強会



21北海道を拓く会総会